

ボランティア活動グループ訪問記

活動の盛り上げ

相模原市視覚障害者協会（相模協）さん



取材を会長の宇都木茂さんにお願いしたところ、7月1日（日）は、本会館3階のさがみはら市民活動サポートセンター会議室でパソコンサークルがあるが、勉強会が開かれるとお聞きし、お邪魔しました。勉強会は一時から3時の予定でその前の12時から1時までを私たちのために時間を作ってくださったのです。お話を伺ったのは代表の宇都木さんと理事の関田ひろみさんです。

相模協は前会長八代義男さんに代わって今年度から宇都木さんが会長に就任されました。会員は正会員、賛助会員あわせて87名で女性が圧倒的に多いです。年代は60代70代が中心ですが、今日があるがも、のほかに合わせて80歳のサークルがあります。スポーツ、コース、編み物など以前にもボランティアで載せました。思いを思っています。

協会の活動はどのくらいか

昭和54年創設です。視覚障害者の福祉増進向上を

はかり、自己更生ととも安心して暮らせる共生社会を実現するため設立された団体です。

前会長八代さんの引継ぎでこの言葉「明るく仲良く、元気づけ合おう」



宇都木さん（右）、関田さん（左）



ボランティアさんもガイドヘルパーさんも一緒になって和気あいあい勉強会

トリーにしています。実際にサークルやイベントなどで会員の皆さんと交流する中で元気で楽しく笑い声が響き、そんな皆さんと一緒に楽しく過ごしていると、なるほどなあと感じています。

活動の時の移動はどのくらいですか

ガイドヘルパーさんやボランティアさんと一緒に移動しています。

イオンの幸せの黄色いリボンキャンペーンについて

相模協の活動資金としていつも助かっています（毎月11日、イオン橋本店で買い物をした際黄色いシートを備え付けの箱に投入する仕組みです。相模原市視覚障害者協会の箱に入れていただけると集まったシートの合計金額の10%が返取られます）。

ご支援いただきありがとうございます

会員が口頭抱えこむ悩みや問題についてその解決に向けて情報交換や研修会などを行い会員相互の親睦と交流を深めています。バス旅行や各種サークル活動などボランティアの方たちにも楽しく活動しています。視覚障害者のみならず多くの方々のご入会をお待ちしています。

パソコンサークルが広がる

毎月第一、第三日曜日に活動。今日の参加者は何人。パソコン操作方法を手伝ってくださったボランティアさんたちも、和気あいまいで活動が盛況です。



皆さんそれぞれ操作の習得に真剣です

した。体験でこられた方はスマホを使っている操作を教わっていました。

会員の連絡はどのくらいか

メールや墨子、それから電話で行っています。メールはスマホの画面読み上げアプリや、パソコンの画面を読み上げるスクリーンリーダーというソフトをつかい音声に変えて聴き取ります。ボイス通もメールで送れば読めたりできます。相模原市などの緊急情報などがでた際には会員の間で連絡を取りあっています。

相模協について知っていますか

会員の生活の向上をめざし、毎年視覚障害者福祉大会の中で当事者からの要望や意見をとりまとめ、市や関係団体に幅広く発信しています。会を通じた当事者の声を届け、視覚障害者のみならず、「誰一人いても喜ばせよう」という実現の一翼を担う団体としても責任を感じながら活動しています。

また、普段のサークル活動の成果を発表する機会や会員相互の親睦を深める機会として、「白杖の文化祭」について催し物を年一度開催しています。

催し物です。NPOの活動におしても、会員の皆さんとの楽しみや仲間への一助になればという思いで会の運営を続けています。その存在をより多くの人に知ってほしい。一緒に活動を楽しみたい。一緒に仲間や活動に賛同してほしい。仲間を今後増やしていきたいです。

*次ページに続きます。